| 学校番号 | 416 |
|---|---|

# 令和８年度　理科

| 教科 | 理科 | 科目 | 生物基礎演習 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 自主作成教材 | | | | | | |
| 副教材等 | 自主作成教材 | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物基礎の内容の中で、より深めた部分（教科書で参考扱いになっている部分や、人体に関する内容など）を学習し、自分のからだや生物全体のつながりなどについて、学んでいきます。実習などを通じて実物に触れて、自分がどう感じるかを常に意識して下さい。積極的に発言・質問して、授業内容の理解に努めましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。ヒトのからだや日常的な体験と学んだ知識を統合していく力をつける。
【思考力、判断力、表現力等】
観察、実験などを行い、体験を通じて探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 自然の事物・現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。<br>観察，実験を行い，基本操作を修得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 | 自然の事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 | 自然の事物・現象に主体的にかかわり、見通しを持った振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 1. 細胞の働きと生物のしくみ | **細胞の多様性と共通性**<br>**細胞の働きとヒトのからだ** | a: 細胞には様々な種類があることを理解する。 顕微鏡の使い方に精通し、様々な細胞の構造や働きを知る。<br>b. 細胞の構造や働きから、様々な生物どうしの関わりについて、発展的に考える。<br>c: 細胞を通じて、生物の多様性と共通性について、主体的に関わり、見通しを持った振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。 | 定期テスト<br><br>小テスト | 定期テスト<br>ワークシート<br>実験レポート | 振り返りシート<br><br>レポート |
| | 2. 生物どうしの関わりについて | **生態系の中のヒト**<br>**人間社会と自然との共生** | a :生態系での生物の役割と生物どうしのかかわりを理解する。<br>b:非生物的環境と生物的環境のかかわりを知り、これからの社会の中で、我々ヒトがどのように自然と関わっていくのが良いのかを思考し、他の意見を聞きながら考えを発展させていく。<br>c:現代社会のなかでの様々な現象ついて、主体的に関わり、見通しを持った振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。 | 定期テスト<br><br>小テスト | 定期テスト<br>ワークシート<br>実験レポート | 振り返りシート<br><br>レポート |

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 2学期 | 3.命のつながり | **遺伝の法則**<br>**DNA の働き**<br>**ヒトの生殖** | a: 生物の生殖について理解を深め、メンデルの遺伝を通じて、染色体や遺伝子 (DNA) について、理解する。<br>b:実際の遺伝現象(ハエの培養)を観察し、メンデルの遺伝の法則を探究し、科学的に考察し、表現している。また、DNA についても抽出実験や模型作成を通じて、構造・働きを理解する。<br>c:生殖と遺伝現象、主体実的に関わり、見通しを持った振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。 | 定期テスト<br><br>小テスト | 定期テスト<br>ワークシート<br>実験レポート | 振り返りシート<br><br>レポート |
| | 3.ヒトのからだ | **消化器系**<br>**神経系**<br>**循環器系**<br>**筋・骨格系** | a:ヒトの体の基本的な構造・働きを理解している。<br>b:解剖学実習を通して、科学的に考察し、さまざまな器官の構造と各器官の関係性を科学的に表現する。<br>c:ヒトのからだの構造や働きについて、自分のからだの働きを確認しながら主体的に関わり、見通しを持った振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。 | 定期テスト<br><br>小テスト | 定期テスト<br>ワークシート<br>実験レポート | 振り返りシート<br><br>レポート |
| 3学期 | | **恒常性の働きと免疫システムについて** | a: 生物基礎で学んだ恒常性や免疫について、ヒトのからだの構造や働きを学んだことで、更に理解を深める。<br>b:感染症への対応やいくつかの病気に対する医学の発展などについて科学的に考察し、表現できる。<br>c:自分自身のからだの働きに目を向けて、健やかに生きていくことを科学的に探究しようとしている。 | 定期テスト<br><br>小テスト | 定期テスト<br>ワークシート<br>実験レポート | 振り返りシート<br><br>レポート |

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度